

第22期登山学校 「総合学習」実技記録 3班報告書 記録：上田健一

日時：12月2日（土）3日（日）

実施場所：西上州 鍬柄岳 荒船山

【1日目 鍬柄岳】

北浦和駅常盤公民館前6：30（乗車）-柳瀬川駅前7：00（乗車）-上里PA8：30-所沢IC-関越自動車道-上信越自動車道-下仁田IC-千平（下車）-登山口9：30 出発-10：00 体操、ハーネス着用-11：40 鍬柄岳頂上到着-12：40 岩場下で昼食-下山口-バス停車場所到着13：10「やまびこ荘」到着15：10-机上講習 雪山講座17：30-入浴-18：30 夕食&懇親会-21：30 就寝

今回の登山学校は総合学習と言う事で、今まで学習してきた事の総仕上げとして、西上州 鍬柄岳へ。登山中の目線、姿勢、体重移動、歩幅に注意しながら水分補給、エネルギー補給し岩場に到着、トラバースの練習としてフィックスしたロープに自己セルフを取り移動の練習で使い慣れないカラビナに戸惑いながらなんとか通過しました。

宿で次回の雪山入門講座の講習を受講しました。

雪山の装備 登山靴 ピッケル アイゼン グローブ スパッツ 装備の説明

雪崩対策 弱層テスト

13日のスケジュール

【2日目 荒船山】

やまびこ荘」（出発）8：30-内山大橋（到着）8：50-出発9：05-②通過9：45-③荒船不動休憩込通過10：08-④通過10：33-⑤星尾峠通過10：50-⑥通過11：13-⑦アイゼン歩行11：25 登頂-⑧休憩込11：42-⑧通過11：58-⑨12：49-昼食13：49-⑩通過14：08-⑪14：40 下山-バス乗車-上里PA-柳瀬川駅前-北浦和駅常盤公民館前到着

2日目は酔い覚ましに朝風呂から始まり、朝食は食べ放題で満足しました。

内山大橋から歩き始め緩やかな林道を進むと荒船不動に到着、ここから登山道となりゴロ石交じりで、足場が悪く落ち葉で滑るし気が抜けない山行でした。

星尾峠でアイゼン歩行の練習でしたが、3班は付けずに出発、雪が少々有り登りはなんとか登れたのですが、下りは怖いな〜って思っていたら、トラバースして落ち葉が溜まっている所を駒崎さんがスタスタ降りて行くのでビックリ！後について下りました。

こういう危険回避の仕方もアリだな〜と思い勉強になりました。

しばらく歩くと臈岩ここで昼食となり休憩、昼食後臈岩で記念撮影、下山道も木の橋や鉄板の階段が有り気が抜けませんでした。

全員無事に下山し楽しい山行になりました。

運営委員の皆様ありがとうございました。

2 2 期登山学校 第 7 回「総合学習」 講座報告

作成者；第 1 班 鹿喰正浩

講座日；2017年12月2日（土）～3日（日）

場所；鋏柄岳・荒船山

講習要項；登山実技により今まで学習してきた内容を実践する事で、今までの受講内容の習得度を確認する。

1 月受講予定の雪山入門の机上講座

担当講師；伊藤 正勝 氏、 山口 雅彦 氏、植村 勇 氏

1 班要員；(班長) 佐野 江里 氏、(副班長) 鈴木 和子 氏、(会計) 浅井 幸也 氏、
竹腰 幸子氏、 佐野 和司 氏、 (記録) 鹿喰 正浩

【講座内容（第 1 日目／鋏柄岳）】

概要；・今まで学習した全ての内容を再確認するための実技登山であったが、特に「岩登り初級」で学習した要素が重要となる実技であった。

・講師の指導の下、ロープワークから岩登り（ホールド、スタンス、三点支持、トラバースシステム）について再確認・再指導頂いた。

・雪山入門机上講座にて雪山装備の名称及び使い方、雪上でアイゼンワーク、雪崩の仕組み等について講義を受けた。

活動記録； 0920 千平到着（バス下車）／班集合

0955 鋏柄岳登山口／準備体操／1015 出発

1037 頂上取付口／小休止／1048 出発

1150 頂上／集合写真／1200 下山開始

1254 頂上取付口／昼食／1317 出発

1330 鋏柄岳登山口

1400 千平・下山完了／生理体操／クロージングミーティング／バス乗車

1530 やまびこ荘到着

1600～1700 雪山入門机上講習

【講座内容（第 2 日目／荒船山）】

概要；・総合学習 2 日目の実技登山であったが、こちらは「地図の読み方」で学習した要素が重要となる実技であり、講師の指導の下コンパス振りをこまめに行い習得度を確認した。

・しかしながら小規模ながら鎖場もあり、前日同様に「岩登り」の要素も必要となる実技であった。また途中で凍結の為に軽アイゼン装着の場面もあり、前日の机上講座で学習したアイゼンワークが早くも役に立った。

活動記録； 0850 内山大橋到着（バス下車）／生理体操／0900 出発
0942 ②地点（分岐路）
0952 ③地点 荒船不動
1024 ④地点（北アルプス景観地点）
1040 ⑤地点 星尾峠
1100 ⑥地点 行塚入口
（途中アイゼン装着）
1128 ⑦地点 行塚山頂
（途中アイゼン脱着）
1148 ⑥地点 塚入口
1156 ⑧地点 1 3 5 6 M地点
1216 ⑨地点（分岐路）地点／昼食／1235 出発
1240 ⑩地点 艦岩／集合写真／1250 出発
1336 一杯水地点
1418 内山峠／下山／クロージングミーティング／バス乗車

《感想》

上記にて、「岩登り」や「地図読み」が重要な要素となると書いていますが、実技途中では水分や栄養補給等の「運動生理」に関する事や、登山時及び下山時の「歩き方」、雲を見ながらその日の天気図を解説頂いての「天気の見方」についても色々と指導や解説を頂きながらの、全学習内容に渡る「総合学習」の実技登山となっております。

自分では既に習得しているつもりでも、実際にやってみると間違えてしまったという事がありましたが、最も怖いと感じたのは「習得できていないのに既に習得していると勘違い」しているという事で、この事により大きな事故に繋がる可能性もあり、謙虚に捉えるべき事と考え反省します。折角講師や運営委員の皆さんがボランティアで登山学校に参加し教えて頂いた講義なので、再度講義資料を見直し復習する事にします。

講義以外の事になりますが、今回第一日目に山行した楡柄岳の岩場は迫力があり、また景観も素晴らしく良かったので、是非再度来たいと思いました。また、宿泊講習という事で、皆さんとたくさんの時間を共有できた事も非常に良かったです。特に夕食後の自由時間に講師や同期の皆さんとお酒を飲みながら、色んなお話をする時間が出来て本当に楽しかったです。次の雪山講習で登山学校が終了してしまうと思うと寂しですね。

最後に今回の講習に携わってくださった講師運営委員会の皆様どうも有り難うございます。厚く御礼申し上げます。